

# PantoneLIVE (パントンライブ) とColorCert (カラーサート) が、東莞現代紙品社の生産効率化と迅速なカラーマッチングを実現



業界  
用紙パッケージ



工場規模  
78,000 平方メートル



従業員数  
1,000 人



1日の印刷枚数  
1,000,000 枚

東莞現代紙品社 (とうかんモダンペーパー) は 1976 年に設立され、香港に拠点を置くパッケージ印刷メーカーです。同社は、ISO 9001:2015 および 45001 をはじめ、G7 マスター資格を含む多くの認証を取得しています。また、ISTA (国際安全輸送協会) に認定されたパッケージ印刷エンジニアを採用し、最新の設備を備えた ISTA 検証センターにおいて、ISTA 1, 2, 3, 6, 7 サムズクラブ、アマゾン FFP など、ISTA の厳格な条件を満たす検証を実施しています。

持続可能性を重視する東莞現代紙品社では、工場現場と顧客先において、印刷生産の効率化と廃棄物の最小化を図るため、迅速かつ正確なカラー調整を実現できる方法を模索していました。

「エックスライト社の eXact 分光測色計、PantoneLIVE デジタルスタンダード、ColorCert 品質管理ソリューションを活用することで、クライアントとのカラーマッチングの調整を迅速かつ容易に行えるようになりました。事前に設定されたカラーデータにより、明確なデジタルスタンダードも設定可能となり、ミスコミュニケーションや無駄も排除されました。現在では、お客様が印刷機のチェックに当社の工場までお越しいただく必要もなくなり、全体的な時間とコストの節約につながっています。」

～ 東莞現代紙品社、アカウントマネージャー、ロメオ・デロス・サントス氏 ～

## 課題

東莞現代紙品社では、カラーマネージメントにエックスライト社の分光測色計 eXact を使用していましたが、顧客は通常、カラーマッチング用に Pantone 色見本を提出し、現場においてサンプルの目視評価を行っていました。東莞現代紙品社は、異なる基材によって印刷物の最終色が影響される場合に、顧客の目視評価用にペンキが塗られた色評価用カード「ドローダウン」を作成していました。

一方、環境光や評価者の知覚によって、顧客の合否判定は非常に主観的なものでした。サンプル色は承認された時点で、今後のスタンダードとして見なされます。東莞現代紙品社では eXact を用いて測色を行い、Lab スタンダードをデータベースに入力した後、印刷オペレーターや品質管理の責任者と共有し、カラーマッチングと評価に使用していました。しかし、その手作業に長時間かかり、依然として主観的な目視評価に依存する工程であったのです。

## 解決策

東莞現代紙品社では、PantoneLIVE と ColorCert を使用し、フィードバック式のデジタルワークフローを構築するため、カラーマネージメントツールを拡充しました。デジタルスタンダードと品質管理を導入することは、印刷条件にとらわれず、勤務時間や作業場所が異なる場合でも正確性と一貫性を確保できる最も容易な方法です。

**PantoneLIVE** は、デジタル Pantone スタンダードが一元化された安全なクラウドベースのエコシステムで、印刷ワークフローに関係者全員とデジタルカラーデータを共有することができます。PantoneLIVE には、特定の印刷工程、基材、インクシステムに対し、明確な色の期待値を設定する従属スタンダードが含まれています。東莞現代紙品社では、最新の PantoneLIVE デジタルスタンダードに基づき、eXact を用いて印刷工程の様々な段階で測色を行い、正確な色を維持しています。

**ColorCert** は、印刷ワークフロー全体におけるカラーコミュニケーションを簡素化するモジュール式の品質管理ソリューションです。ColorCert モジュールを組み合わせて活用することで、ワークフローの関係者全員（例：ブランド、プリプレス、インクルーム、プレスルーム）とカラーデータ、印刷の期待値、許容範囲、印刷機のセットアップ情報、ジョブ評価のスコアを共有する事が可能になります。低いジョブスコアが出力された場合は、原因を分析することで、印刷工程を即座に改善・最適化することができます。

## エックスライト社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンター 西棟 6F  
TEL: 03-6374-8734 E-mail: japanmarketing@xrite.com

<https://www.xrite.com/ja-jp>

 xrite.jp  xrite.jp  /X-Rite Japan



## 結果

- デジタルワークフローの関係者全員とデータを共有し、迅速なカラーマッチングを実現
- 様々な基材に対する色の再現性を明確な目標とともに設定
- 即時にフィードバックを出力し、印刷データの確認時間を削減
- 印刷時に色のバラツキが変化した場合は、迅速に修正可能
- 曖昧さを排除し、人為的ミスを低減
- 異なる印刷現場とオペレーター間において一貫した色を再現
- 現場における印刷機のチェックに伴う時間とコストを削減
- 廃棄物を低減し、持続可能な印刷ワークフローを実現